

7-1. 播種性血管内凝固、敗血症、真菌症、手術・処置などの合併症の発症率

ICD-10コード	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	-	-
		異なる	-	-
180010	敗血症	同一	-	-
		異なる	-	-
180035	その他の真菌感染症	同一	-	-
		異なる	-	-
180040	手術・処置等の合併症	同一	-	-
		異なる	-	-

解説

患者数が10未満の数値には、－(ハイフン)を記入しています。

※播種性血管内凝固症候群(DIC)

様々な原因で血液の「固まる力」が強くなりすぎて、血管内のいろいろな場所で血液が固まり「血栓」ができてしまいます。「血栓」がつくられる時に「血小板、血漿」に含まれる「固まる力」に必要な成分が多量に必要な為、出血がなかなか止まらないといった予後不良の病気です。